

味噌造り180年の歴史と伝統を基礎に 新しい取組を積極的に行っている

寛文8年(1668年)に米屋として創業し、天保2年(1831年)より味噌醸造開始。曹洞宗総本山である永平寺御用達の味噌製造業者でもあり、平成13年に現社長の多田和博氏が社長に就任後、他社に先駆けてインターネット通販システムを導入しBTOCでの売上アップに取り組んだ。平成17年に県の経営革新の認定を受け味噌の量り売り部門を工場に併設、同29年に同経営革新の2回目の認定後、味噌をテーマにした複合施設「みそ楽」をオープン。

- | | | | |
|----------|---|--------|---------|
| ● 所在地 | 福井県福井市春山2-15-26 | ● 設立 | 1954年 |
| ● 電話/FAX | 0776-24-0081 / 0776-22-0740 | ● 資本金 | 2,040万円 |
| ● URL | https://www.misoya.com/ | ● 従業員数 | 22人 |
| ● 代表者 | 代表取締役 多田 和博 | | |



味噌作り180年以上の歴史に裏打ちされた質の高い商品

地元福井産の選りすぐりの米と厳選した国産大豆、天日塩を使い、素材のうまみを最大限に引き出した昔ながらの味噌を作っている。雑菌の発生を防ぎ、蔵独自の酵母菌を活かしたおいしい味噌をつくるため、蔵の衛生管理を徹底。食品添加物は一切使用せず、熟練の職人の手による味噌は市販の大量生産品とは違うこだわりの味噌を製造。更に近年は、飲食部門へも進出し県の2度目の経営革新計画の認定後、味噌をテーマにした複合総合施設「みそ楽」をオープンし成功を収めている。



「みそ楽」での飲食、物販の相乗効果

海外への商品輸出を見据えた商談イベントへの積極的参加

これまで県外の百貨店や商談会に出展しているほか、福井県が開催する海外との商談イベントにも参画している。平成29年は香港、シンガポール、台湾の食品輸入商社・高級デパートと商談を実施、平成30年には物産展にも出品し商品の認知度向上を図った。海外への輸出についてはまだ途に就いたばかりであるが、最近では海外向けのインターネット通販でも注文が相次いでおり、今後さらに拡大していく予定である。



海外物産展への出展、商談を実施

自治体(福井市)との連携による新商品開発の取組

同社は、県内外の若者と県内企業が連携して事業を創出し地域を盛り上げる福井市の事業「Xスクール」にパートナー企業として参画。本年度はXスクール受講生の2名と新商品開発に着手し福井の民話を絵巻物にして味噌を包装した「福井絵巻味噌」を商品化した。同商品は味噌そのものを味わうだけではなく、福井市内に古くから伝わる民話とともに福井の土地や風土、郷土色としての味噌の料理レシピなど豊富なコンテンツが詰まったユニークな商品となっている。



福井絵巻味噌